



もう梅雨明け宣言がささやかれています。本当に暑い日が続いています。今週末から始まるサマセミも猛暑の中での開催になりそうです。

昨日父母懇OB会の「七夕の集い」で寺内義和サマセミ実行委員長から緊急の訴えがありました。

ご存じのように今年のサマセミは2000を越える講座が開講されますが、知名度はあまり高くはないが非常に考えさせられる講座に受講者が集まるかどうか危惧されています。その一例としてあげられたのが次の講座です。

大山泰弘氏（日本理化学工業株式会社社長）

「チョーク工場で学んだ幸せに生きる18の知恵」

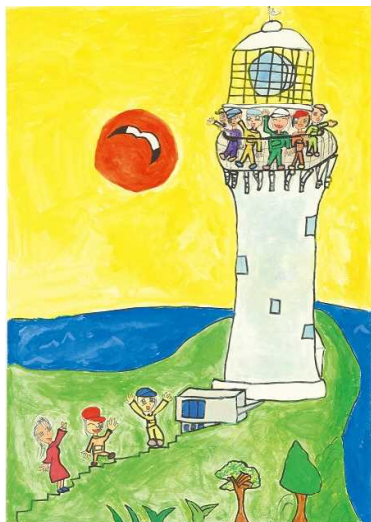
14日（日）3限 南山高校男子部 1階合同教室

『日本で一番大切にしたい会社』をつくった経営者。多数の知的障がい者を雇用し、何を発見し、何が創造されたのか、そのドラマを語っていただき、「自己表現とは、幸せとは」に迫ります。

大山氏が会長を務める会社は川崎と北海道・美唄にチョーク製造工場があり、74名の社員が働いています。この会社の特徴は55名が知的障がい者だということです。

1960年に「身体障害者雇用促進法」が制定され、その雇用が事業者には義務づけられました。1987年には「障害者の雇用の促進等に関する法律」と改められて知的障害者も適用対象となりました。（2018年度からは精神障がい者も適用される。）養護学校の教師の熱心な依頼に根負けして2名の中等部卒業生の実習を引き受けた大山氏は、この生徒達の働く姿に学び、生きることと働くことにつながりに開眼したといいます。

生徒や保護者の方々にぜひ勧めてほしい講座の一つです。



「姫花ちゃんのハンカチ」

福島県いわき市で津波にさらわれ10歳で亡くなった姫花（ひめか）ちゃんには、デザイナーになるという将来の夢がありました。絵を描くことが大好きだった姫花ちゃんの夢をかなえたいという親と京都のデザイナー竹内氏の尽力で生まれたのがこのハンカチです。テレビで放映されたこの物語が入ったDVDは研究所のライブラリーにあります。かり出し希望の方はお知らせください。

「”かもめ”は故郷を見続ける」（全体は22分、姫花ちゃんのハンカチの部分は5分）